

四之宮6月号 公民館だより

平塚市四之宮3-20-26

電話 55-0655

FAX 54-8255

ホームページは

地図は
こちら→



平塚市立四之宮公民館 と検索

地域の情報は **四之宮ふれあい便り** と検索

シニア学級

モルックをやってみよう!

モルックとは?

木製の棒を
なげる

木製のピンを
たおす

得点を
きそう

誰でも簡単に楽しめるニュースポーツです。棒の投げ方・力の強弱・どのピンを倒すか?・・・などなど、意外と奥が深い? ぜひ一度体験してください!



日時：令和5年7月12日(水) 午後2時から

場所：四之宮公民館 集会室

協力：平塚市 スポーツ課

募集人数：30人(原則60歳以上の方)

申込：55-0655 (四之宮公民館)



♪ 子育てるんるん ♪

日時：6月19日(月) 公民館集会室
10:00~11:30 七夕飾りを作ろう

手作りの七夕飾りや短冊にお願いを書いて、
楽しく飾り付けをします。

平塚市の七夕飾りコンクールにも応募しますよ~♪

お友達を誘って遊びに来てくださいね(´▽`)



公民館 除草作業

四之宮公民館において、敷地内の除草作業を行います。皆様のご協力・ご参加をお願いいたします。

日時：6月25日(日)

午前9:00(雨天中止)

持ち物：軍手やタオル等



社会福祉協議会 移動ふれあいサロン

日時：6月24日(土) 10時~

場所：四之宮ふれあいセンター

※公民館ではないのでご注意ください

内容：オールドボーイズによる歌と演奏



利用団体からお願い

四之宮の歴史に関する本

ご自宅にありますか?

「四之宮郷土史同好会」では、四之宮の歴史に関する文献や資料を探しています。ご自宅の片隅に眠っているあの本・・・もしかすると、貴重な記述が発見できるかも。ぜひ四之宮公民館へご持参ください。

『令和5年 大野地区 平和を感謝する集い』のお知らせ

開催期日：令和5年7月17日(月) 祝日(海の日) 午前10時 開式

開催場所：松が丘公民館 2階集会室

内容：★式典(無宗教行事) ★作文朗読(中学校の生徒の皆さん)
本年度は通常式典として開催します。

主催：大野地区平和を感謝する集い 実行委員会

当日は参加自由です。皆さんお誘いあわせの上ご参加ください。

四之宮地区福祉村からのお知らせ

6月の福祉村は、次のとおり実施します。なお、新型コロナに対しましては引き続き、ソーシャルディスタンスを保つことで、3密を回避し活動を行います。

開村日：毎週 月・火・水・土曜日（祝日は休村） 場所：公民館 いこい室
開村時間：AM 10:00～12:00 PM 1:00～3:00 TEL：55-0750

手芸

6/5・12・19・26
いずれも(月)AM

ゴム体操・コグニサイズ

6/7・14・21・28
いずれも(水)PM

歌声サロン(三味線)

6/20(火)PM

小中学生への学習支援

6/3・10・17・24
いずれも(土)AM

6月サロンのご紹介

スカットボール

6/20(火)AM

臨床美術

6/7・28
いずれも(水)AM

園芸クラブ

6/13・27
いずれも(火)AM

吹矢体験

6/12・26
いずれも(月)
AM9:30～

囲碁ボール

6/14・21
いずれも(水)AM

お茶席をたしなむ会

6/5(月)PM
7月は第1週の7/3

四之宮まめ知識「四之宮 あれそればなし その6」 記事提供：四之宮郷土史同好会

四之宮の家の屋根

むくらの幼稚園跡地発掘時の見学会で、掘立て柱住居跡が密集状態で多数発掘されました。

「この住居の屋根材」を伺ったところ「茅葺き」であったため、その説明がありました。

当時、四之宮は砂丘地帯で、茅は豊富ではなかったと思われる。調達や運搬は苦労したのではないのでしょうか？

現在の茅の群生地は、箱根の仙石原が代表されます。以前、大山の麓の日向に広大な茅場がありましたがいずれも山間地で砂丘地帯ではありません。

最近では大磯町高麗の国道一号線沿いに茅葺きの一般住宅がありました。

茅葺き屋根は昭和二十～三十年代頃までは散見されました。砂丘地帯の特徴として茅が入手しにくいので小麦の麦藁を利用した屋根があり、四之宮でも多くみられました。

小麦藁は、強度や耐久性では茅には劣るものの、砂丘地帯ならではの工夫でしょう。同じ麦でも大麦の藁は太く、耐久性が多いため使用されず小麦の藁でした。

茅や藁葺き屋根の長所は、寒暖の温度の防御や大粒な雨の音が小さい等の長所がありました。

しかし火に対しては弱く、四之宮では明治四十二年に藁葺きの屋根に関連する大火がありました。



掘立て柱住居跡



藁葺き屋根の 旧日本家屋

また耐久性や風にも弱いため、次第に茅や藁葺きの屋根は無くなりました。

四之宮の屋根材をみると、古くは奈良平安時代の瓦が高林寺で出土しております。

明治時代に北向観音の隣にあった四之宮小学校の屋根は板が使われていたそうです。

茅や藁葺きの後、瓦も多少あり

ましたが次第にトタンが普及してきました。(太平洋戦争後は、資材不足で杉皮が使われた事もありました。)トタンは比較的安価で、瓦に比べて軽重で地震に対して優れています。防火も茅等に比べて優れています。

しかし、素材は鉄ですのでメッキが劣化すると塗装(ペンキやコーラルター)をしなければ朽ちてしまいます。

比較的、海に近い四之宮は台風の影響でトタンが錆やすくメンテナンスで手間と費用がかかります。また、雨音や熱伝導にも弱点があるので最近では錆に強い合金を使い、かつ防熱を考慮した素材と構造のものが開発されています。

瓦でも、地震やコストを考慮してスレート葺やコンクリート瓦等もありましたが僅かな期間で使わなくなりました。

現在では耐震を考慮して、瓦の重量を三分の一程度にしたものもあります。

ちなみに茅を使った代表的建物は岐阜県の白川郷の群落が有名です。

※同好会はメンバー募集中です。いつでも入会受付中です。

四之宮郷土史同好会
ホームページ
一次バーコードです。